

## もの言う牧師のエッセー 第48話

## 「空母が来た」

竹島、尖閣と日本領海内での緊張がにわかにも高まる中、中国に売却された旧ソ連海軍空母「ワリャーグ」が9月25日、引渡しセレモニーを経て正式に就航、艦名は「遼寧」と発表された。

一方、グアム島周辺に展開中の米海軍第7艦隊所属の空母「ジョージ・ワシントン」の元へ、太平洋艦隊所属の「ジョン・ステニス」が合流。その後イージス巡洋艦「モービル・ベイ」に先導される2空母が誇らしげに併進する様子が20日、米海軍ホームページに写真掲載された。この一連の動きは、それに先立つ18日にパネッタ米国防長官が、中国の梁光烈国防相との北京での会談において「尖閣諸島は日米安保条約第5条の適用範囲である」と伝えたことに関連する。ステニスの急派が、尖閣周辺で日中衝突が起きる事態を想定したものであることは明白だ。“決められない”日本の政治に比べ動きが早く、実に頼もしい。

興味深いことに、この度はワシントンとステニスが駆けつけた。言うまでもなくワシントンは“建国の父”だが、ステニスは1989年に亡くなったミシシッピ州選出のジョン・C・ステニス上院議員の名を冠する。実は彼は60年に渡る政治経歴を持ち、一度たりとも選挙で敗北しなかったという“無敗の男”なのだ。これを見て思わず

**「父なる神」と呼ばれる“第一人格”の神と、無敵を意味する「王の王」と呼ばれる“第二人格”である救い主キリストを思い出した。**

**「私が父におり、父が私におられると私が言うのを信じなさい。私は父にお願いします。そうすれば、父はもう1人の助け主をあなた方にお与えになります。」**

**ヨハネの福音書 14章 11,16節**

と、キリストは有名な「三位一体」の説明をしている。因みに**第三人格は「聖霊」と呼ばれ**、要するに彼らは“一つ”なのだ。そしていつでも迅速に信じる者を助けてくださる。

2012-9-27

